

2026年6月4日
サンデン株式会社

サンデン、CDP2025「サプライヤーエンゲージメント評価」最高評価の 「サプライヤーエンゲージメント・リーダー」に初選定



サンデン株式会社(本社:群馬県伊勢崎市、以下当社)は、国際的な環境非営利団体CDPが実施する2025年「サプライヤー・エンゲージメント評価(Supplier Engagement Assessment:SEA)」において、当社初となる最高評価「A」スコアを獲得し、「サプライヤーエンゲージメント・リーダー」に位置づけられました。

CDPの「サプライヤーエンゲージメント評価(SEA)」は、温室効果ガス排出量のうち、サプライチェーン全体を通じた間接排出であるScope3への対応を中心に、企業がサプライヤーと連携しながら気候変動対策を推進しているかを評価するものです。評価は8段階で行われ、最高評価である「A」スコアを獲得した企業は、「サプライヤーエンゲージメント・リーダー」として公表されます。

近年、カーボンニュートラルへの移行が世界的に加速する中、製造業ではサプライチェーン全体での温室効果ガス排出量削減や、持続可能な調達活動の推進が重要性を増しています。特に自動車業界では、Scope3を含むサプライチェーン全体でのESG対応力が、企業の競争力や持続可能な供給体制、顧客からの信頼性を支える重要な要素となっています。

● A評価獲得の背景

今回の評価は、当社が推進してきた持続可能な調達活動に加え、サプライヤーとの継続的な対話や、サプライチェーン全体での温室効果ガス排出削減に向けた取り組みが評価されたものです。

サンデングループは、2039年のカーボンニュートラル達成を目標に掲げ、サプライヤーとの協働を通じてサプライチェーン全体での環境負荷低減を推進しています。

- 「サンデングループ 取引先基本原則」に基づく持続可能な調達活動の推進
- 経営層による国内外主要サプライヤー訪問および企業価値向上に向けた対話の実施
- サプライヤー向け説明会の継続開催によるカーボンニュートラルおよびESGの理解促進と取り組み支援

本評価は、当社のサプライチェーン全体での気候変動対応力および持続可能な調達推進体制が国際的に評価されたものであり、顧客や取引先から求められるESG対応力の強化や、持続可能な供給体制の構築につながるものと考えています。

当社は今後も、2039年のカーボンニュートラル達成に向け、サプライヤーとの連携を一層強化し、サプライチェーン全体での環境負荷低減と企業価値向上の両立を目指してまいります。また、持続可能な調達活動を通じて、グローバルで持続的な成長を支える事業基盤の強化に取り組んでまいります。

[参考リンク] CDP: <https://cdp.net/ja>

本件に対するお問い合わせ

サンデン株式会社 総務本部 広報・IR 担当

Tel : 03-5828-5582 Email : sdhd.prcsr.jp@g-sanden.com Web : <https://www.sanden.co.jp/>